



三 宮 十五郎 議員

## 地球温暖化防止のため 巡回福祉バスの活用を

問

(1) 県や他の港湾自治体と協力し、排気ガスの規制を進め、巡回福祉バスを活用し、日常生活に自家用車を使わなくて済むまちづくりが課題になっている。

市長としてイニシアチブを発揮してもらいたい。

(2) 住民の希望を聞いてバスの運行をするか、検討委員会もつくって、具体的にバスを効果的に使う手立てを考えてもらいたい。

### バスの位置付けを 明確に変更すべき

答 市長

(1) 福祉バスは、年間経費4、800万円を使いながら、高齢者の社会参加を促す意味合いで活用してもらっている。

巡回福祉バス



CO<sub>2</sub>削減のため、このバスを中核的な交通手段として考えるならば、バスの位置付けを明確に変更していかねければならない。

次の段階で、バスの計画的な利便性を考えなければならぬ。

(2) 市民の意見で一番多か

ったのは、バス停の増設であった。

福祉バスを充実させるためには、抜本的に考え方を改めて、総合的な見地で考え方を新たにしていきたい。

### ごみのリサイクル が減ってきている

問

以前はごみの総量の大体25%ぐらいをリサイクルに回していたが、最近だんだん落ちてきている。

行政として努力してもらいたい。

### 市としても大変 重要な問題である

答 市長

ごみ、リサイクルの問題は市としても大変重要な問題で、このためには、一人一人が生活の中で分別も含め、ごみの量の削減に対し意識することが大事である。

### さらなる減免制度 の見直しを

問

(1) 市税の減免制度は一定の見直しがあったが、さらに見直しをする考えは、今も変わっていないか。

(2) 後期高齢者医療制度へ移行し、市の減免制度が受けられなくなった人へ、何らかの手立てをとる必要があると思うがどうか。

### 近隣市町村も確認し 検討していく

答 市長

(1) 減免制度の改正については、近隣市町村の確認もし、検討していく。

答 保険年金課長

(2) 常に弱者に対する保険料徴収の研究を進めるよう、他県の広域連合の情報も収集し、対応が遅れないように広域連合へ働き掛けていきたい。